

第3学年 総合的な学習の時間

単元名 「落合さんのはまなし作り」 ～落合さんのなし園をしょうかいしよう～

授業者 山本 晃司

場所 3年2組

人数 34人

1 児童の問題意識

社会科のまち探検で、中山のまちの北方面に何か果物を作っているところを発見。その中に、「はまなし」を育てている落合さんという方がいることが分かった。落合さんは「はまなし」を何年も育てている。「はまなし」は家でも買って食べたことがある。「はまなし」となしの違いは？「はまなし」を育てるにはどんな仕事があるのかな。3年生で「はまなし」について調べていこうよ。

2 単元の意図【環境・まちの特色】

中山小学校の学区の少し北にある小山町や北八朔周辺は、「はまなし」の生産が有名である。「はまなし」は横浜市が誇る特産品であり、中山のまちが「はまなし」の産地であることは、児童にとってまちの自慢である。農家の方と触れ合うことで、農家の仕事の大変さや「はまなし」の魅力を感じていく。「はまなし」の魅力を守っている人たちとの出会いや、自分たちの力でも、宣伝活動に取り組んでいくを通して、自分たちのまちのものを、自分たちの手で守っていくことの大切さを感じ、農家の方とコミュニケーションをとりながら活動を深めていく児童の姿を期待している。

3 単元目標

落合さんのなし園を見学したり、インタビューをしたりする活動を通して、よりよいなし作りをするために工夫や努力をしていることに気づき、まちのために自分ができることに進んで取り組んでいこうとする。

4 身につける資質・能力・態度

学習方法に関すること	○地域の産物である「はまなし」のよさを考えて、学習の計画を立てる。 ○落合さんへのインタビューを通して、得た情報を整理したり比較したりして、「はまなし」に対する自分の考えをもつ。 ○落合さんから聞いたことやインターネット・図書室などで調べたことを、伝える相手や目的を意識して分かりやすく表現したり、発信したりする。
自分自身に関すること	○地域の産物である「はまなし」をつくる落合さんの取組を通して、まちのために自分ができることに進んで取り組んでいこうとする。 ○地域を大切にしながら生きる人の存在に気づき、まちへの愛着を深めようとする。
他者や社会とのかかわりに関すること	○落合さんに対して、共感、感謝、尊敬の気持ちをもって接する。 ○落合さんの話を聞いたり、自分の思いを伝えたりすることで、交流を深めようとする。

5 関連する教科

教科等名	学習内容	時間数
国語	・ 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。 ・ 学級で話し合って考えをまとめたり、意見を述べあったりすること。	5
社会	・ 自分たちのまちの地形や土地利用の様子、集落の分布、商店や主な公共施設、鉄道や道路の様子、古くから残る建造物などを観察・調査したり、地図にまとめたりして、場所によって特色があることに気付くようにする。	6
理科	・ 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつこと。	6
道徳	・ 時と場合をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。 ・ お世話になった方に感謝の念をもつ。	4
特別活動	・ 勤労や尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動にする。	1

6 基本構想図

落合さんのはまなし作り ～落合さんのなし園をしょうかいしよう～『横浜の時間』75時間

1 まちたんけんに出発（総合4時間）

○学校の近くの建物や自然を観察する。

社会6時間・理科3時間・道徳1時間

○見つけた生き物や植物など自然の様子について感想を述べ合う。

○その他に、気になったことや気付いたことなどを発表し合う。

まちたんけんて中山のまちの北方面になし園を発見。花がたくさんさいて、なし園だとは思わなかったよ。落合さんのなし園について調べてみたいな。

2 なし園見学をしよう（総合18時間）

○なし園見学の計画を立てる。

○なしの成長を予想をする。

○なし園の見学する。5月 7月 9月 12月

○見学したことを記録し、発見したことを発表し合う。

国語3時間・道徳1時間・特別活動1時間

なしの実が大きくなるまでは、どんな仕事があるのだろうか。

落合さんのなし園は40年前からあるんだって。はまなしはいつから作られているのかな。

「はまなし」だけでなく、地域でとれたものは、その地域の人の人に食べてもらいたい。

3 なしのことについて調べよう（総合8時間）

○インターネットで調べてみよう。

○図書室で調べてみよう。

○副教材「わたしたちの横浜」で調べてみよう。

道徳1時間

はまなしを育てるのにはたくさんの苦労がある。

おいしいはまなしをもっとみんなに知ってもらいたい。

落合さんのおもいを伝えたい。

お世話になった落合さんにお礼をしたい。どんなお礼の仕方があるかな。

4 お礼の仕方を考える。（総合10時間）

○なしの絵を描いたり、お礼の手紙を書いたりする。

○なし園のポスターを作る。

○はまなし宣伝CMを作る。

道徳1時間

5 中山プロジェクトで発表しよう

（総合16時間）

○なしについて調べたことをまとめる。

○発表のしかたを考える。

○中山プロジェクトで発表する。

国語2時間

○給食の時間に全校に自分たちで作ったCMを流す。

○自分たちの取り組みを振り返りまとめ、これからのことについて話し合う。

7 指導計画

活動内容	時間数	指導のポイント・関連する評価
1 まちたんけんに出発 ○学校の近くの建物や自然を観察する。 ○見つけた生き物や植物など自然の様子について感想を述べ合う。 ○その他に、気になったことや気付いたことなどを発表し合う。	総合 4 社会 6 理科 3 道徳 1	・社会科でまちたんけんを行い、主な施設を調べたり、地図に表したりすることを事前に学習する。 理科：公園や樹林の生き物の様子を調べる。 ・公衆マナーを遵守するよう指導する。 道徳：自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする心を育む。
2 なし園見学に行こう ○なし園見学の計画を立てる。 ○なしの成長を予想をする。 ○なし園の見学する。 ○見学したことを記録し、発見したことを発表し合う。	総合 1 8 国語 3 道徳 1 特活 1	・なし作りの仕事を知る中で、落合さんのなしに対する思いに気付くようにする。 ・落合さんなどに対して感謝、尊敬の気持ちをもって接するようにする。 国語：アンケートやインタビューを行う。 道徳：約束や社会のきまりを守り、公德心をもつことの大切さを学ぶ。 特活：勤労生産・奉仕活動
3 なしのことについて調べよう ○インターネットで調べてみよう。 ○図書室で調べてみよう。 ○副教材「わたしたちの横浜」で調べてみよう。	総合 8 道徳 1	・落合さんだけでなく、多くの人がそれぞれ思いをもってなし作りを行っていることに気付くようにする。
4 お礼の仕方を考える ○なしの絵を描いたり、お礼の手紙を書いたりする。 ○なし園のポスターを作る。 ○はまなし宣伝 CM を作る。	総合 1 0 道徳 1	・落合さんに喜んでもらうにはどうしたらよいか考えるよう助言する。 道徳：礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接するよう指導する。
5 中山プロジェクトで発表しよう ○なしについて調べたことをまとめる。 ○発表のしかたを考える。 ○中山プロジェクトで発表する。 ○給食の時間に全校に作った CM を流す。 ○自分たちの取り組みを振り返りまとめ、これからのことについて話し合う。	総合 1 6 国語 2	国語：収集した資料を使い、説明文を書く。 ・図工での学習を生かし、表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料を工夫してポスターなどを作る。

8 研究テーマに迫るための手立て

① 緑区小学校情報・視聴覚研究専門部会の研究テーマ

自ら学び続ける児童を育てるための、情報・視聴覚教育メディアをいかした学習の推進
～明日の授業に役立つ教材・機器の活用～

② テーマに迫るための手立て

○手立て1・・・デジタルカメラの活用

児童がデジタルカメラでCMを撮ったり、見たりすることで、日常的に使用しつつある視聴覚機器の簡単な操作ができるように助言したり、使う回数を増やしたりして視聴覚機器に慣れていくようにしたい。

○手立て2・・・パソコンの活用

自分たちが、撮ったビデオを画面で見ることで、より相手に分かりやすく伝えようとする相手意識をもつようにする。また、よくしていこうと工夫点を見つけるために比べやすくするために活用していきたい。

○手立て3・・・大型テレビの活用

工夫を加えて取り直したシーンを全体で発表し合うときに大型テレビに映すことで話し合いを深めていきたい。

9 本校教育目標および中期学校経営方針との関連

中山小学校 教育目標

豊かななかかわりの中で「生きる力」を身につけます

ここで言う「豊かななかかわり」とは、児童同士、児童と教師、児童と地域などといった人とのかわりだけでなく、児童と学習問題、あるいは児童と教材・教具といった広い意味でのかわりを指している。

本単元では、児童が自分たちの発表をよりよくするにはどのような資料を用意したらよいか考えたり、発表原稿の内容を見直したりしながら、主体的に学習を進めていけるようにしたいと考える。

10 学習実態

この単元では、社会科のまちたんけんで見つけたはまなし園を落合さんに見学させてもらったところから始まった。学校の帰り、見学したことや落合さんから聞いたことを話し合い、今後も見学していこうということになった。見学を進めていくと、自分たちが食べたことのあるはまなしの成長していく過程と、そのために必要な仕事があることを知った。また、仕事に対する落合さんののはまなしへの思いの強さにも気づき、さらに興味をもって調べていった。

9月の見学では収穫をさせてもらい、家に帰ってそれぞれ自分の選んだはまなしを食べることができた。見学させてもらって、実際に食べて、はまなしのよさを改めて実感した。そこで、落合さんの「はまなし」の素晴らしさを他の人にも知らせたいという気持ちが強くなりみんなで話し合った。「はまなし」の宣伝ポスター作りや宣伝CM作りをしようという意見が出た。児童たちは2年生の時の生活科でまちの好きな場所をCM劇で発表したことを思い出し、CM作りをしていこうということになった。CM作りには落合さんの「はまなし」の思いを伝え、宣伝にも繋がるものを作ろうというめあてで取り組んでいる。

児童は総合的な学習の時間や社会科の校外学習（民家園）にて、インターネットで調べたり、デジタルカメラで写真を撮ったりする活動を体験している。活動を通して、デジタルカメラで撮った写真や動画をテレビで映して見ることのよさにも気付いている。

1 1 本時の活動展開（68／75時間『横浜の時間』）

（1）本時目標（目指す児童の姿）

一度作った CM への落合さんと4年生の感想をもとに、全校のみんなに落合さんの願いがより伝わる「はまなし」の CM を作ることができる。

（2）本時展開

本時の展開	■評価と☆支援
前時までの流れ 中山プロジェクトで落合さんに CM の感想を聞いた。また、昨年学習している4年生にも感想を聞いた。 ・声の大きさや早さに気をつける。 ・資料の見せ方の工夫をする。 ・デジタルカメラのぶれをなくす。	☆落合さんと4年生の感想を内容ごとに分類して整理しておくことでグループのめあてをつかませる。
全校のみんなに落合さんの願いがより伝わる「はまなし」の CM をとろう。	
1 CM をよりよくするための工夫をグループで確認し、デジタルカメラで撮影する。 ○落合さんや4年生の感想を参考にする。 ・声が聞こえにくかったから台詞をはっきり話そう。 ・写真の写り方を考え直そう。 ・ぶれないようにしっかり持とう。 ・動きをおおきくして分かりやすくしよう。 ・登場の仕方を工夫しよう。	■何度か CM のシーンを撮ることでよりよいシーンを選びとることができる。 ☆見る側を意識して CM 作りができるように助言する。 ☆CM が前と比べてどうよくなったのかを聞くことで工夫を意識させたい。 ☆CM が撮りやすいように、3－1、4－1 教室で活動する。
3 CM の直した部分を発表し合う。 ○お互いのグループの CM を見合い、よいところを発表する。 ・はまなしのよさの説明がわかりやすかった。 ・はまなしが食べたくなった。 ・はまなしのおいしさが伝わった。 ・落合さんのはまなしをみんなに食べたもらいたい思いがよく伝わった。	☆他のグループにも変化が分かるように、見所を発表していくようにする。 ■CM を見る相手（全校児童）のことを想像し、どうしたら伝わるかと考えたり、工夫したりすることができる。
4 学習を振り返る ・グループで振り返りをする。 ・本時と別のシーンの工夫を考える。	☆次時の活動に意欲をもたせるように助言する